



神奈川県
教育委員会

「かながわ^こ子どものためのブックリスト」



へいせい ねん がつ
平成29年3月

かながわけんきょういくいいんかい
神奈川県教育委員会

ともだちにすすめたいほん



『はらぺこあおむし』(作:エリック・カール/訳:もりひさし)

あおむしが蝶になるまでの一週間、どんな物を食べて大きくなっていくのか、ワクワクする絵本です。(偕成社)



『ぐりとぐら』(中川李枝子 文/大村百合子 絵)

何度読んでも飽きない絵本。動物たちがたくさん集まって、みんなで楽しそうにカステラを食べるシーンが好きです。(福音館書店)



『そらまめくんのベッド』(なかやみわ 作・絵)

絵が優しい。可愛い。寝てみたい。そらまめくんのベッドに。
(福音館書店)



『わんぱくだん』シリーズ(作/ゆきのゆみこ・上野与志 絵/末崎茂樹)

三人がいろいろなことをして遊ぶところが面白いです。同じことをしてみたくになります。
(ひさかたチャイルド)



『11ぴきのねこ』シリーズ

(馬場のぼる 作)

大きな魚をとったのに、朝、骨になってしまうところが面白いです。(こぐま社)



『三びきのやぎのがらがらどん』

(マーシャ・ブラウン 絵/瀬田貞二 訳)

「おれだ！ おおきいやぎのがらがらどんだ！」という台詞が迫力満点でかっこよいです。(福音館書店)

『くれよんのくろくん』(なかやみわ 作・絵)



色とりどりのクレヨンがでてきて、たくさんの絵を描いていくところが楽しいです。クレヨンたちが一緒になって描くのが面白いです。(童心社)

『めっきらもっきら どおんどん』

(長谷川摂子 作/降矢なな 画)



絵がちょっとドキドキするけれど、こんなところがあったら行ってみたい。不思議な歌を歌ってみたくになります。(福音館書店)

『ノンタン』シリーズ(作・絵:キヨノサチコ)



お話が、リズムカルにテンポよく進んでいくところが面白いです。どのシリーズも可愛いお話です。
(偕成社)



『グリーンマンのピーマンマン』

(さくらともこ 作/中村景児 絵)

ピーマンがスーパーヒーローのように活躍するのが大好きです。ヒーロー好きな子に読んでほしいです。(岩崎書店)

『おおきなかぶ』(内田莉莎子 訳/佐藤忠良 画)



「うんとこしょ」「どっこいしょ」の掛け声が好きです。かぶが抜けたとき、とてもうれしくて何回も読みたいたい絵本です。(福音館書店)



『へんしんトンネル』

(あきやまただし 作・絵)

「へんしんシリーズ」は、みんな大好きです。みんなで、声を出しながら読むのが大好きです。(金の星社)

こどもによんでほしいほん

ようちえん
こどもえん



『ぐりとぐら』(中川李枝子 文/大村百合子 絵)

子どもたちも大好きな絵本です。特に、大きなカステラが出てくるところでみんな驚き、思わず食べてみたくなるような本です。(福音館書店)



『ちよっとだけ』(瀧村有子 作/鈴木永子 絵)

赤ちゃんが生まれて忙しいママ。お姉さんになって頑張る「なっちゃん」。ちよっとずつ我慢して成長する姿に、涙が出ました。(福音館書店)



『はじめてのおつかい』(筒井頼子 作/林明子 絵)

一人ではじめてのおつかいに出かけた「みいちゃん」が、困難に直面するたびにドキドキ。買い物ができたときの涙に感動します。(福音館書店)

『くれよんのくろくん』(なかやみわ 作・絵)



お絵かきの仲間に入れなかった黒色のクレヨンが、最後に仲間に入れたとき、とても嬉しい気持ちになりました。(童心社)

『どうぞのいす』(作/香山美子 絵/柿本幸造)



優しい絵と繰り返される動物たちの思いやりがほのぼのします。どうぞのいすに置かれていく食べ物が最後には…。小さな幼児と楽しめます。(ひさかたチャイルド)

『おまえ うまそうだな』(作・絵 宮西達也)



ティラノサウルスが草食恐竜の父親に!?種族を超えた父子の絆に、何度読んでも涙が出ます。心温まる優しいお話です。(ポプラ社)

『そらまめくんのベッド』(なかやみわ 作・絵)



ころんとした豆たちが、ベッドをめぐって様々なやりとりをします。可愛いだけでなく、相手をおもいきりも学べます。(福音館書店)

『かいじゅうたちのいるところ』

(モーリス・センダック 作/じんぐうてるお 訳)



かいじゅうたちの表情を見ていると、この絵本の中に吸い込まれていくようです。一度この絵本の中の世界の主人公になってみたいくなります。(富山房)

『こんとあき』(林明子 作)



(林明子 作)

おばあちゃんが作ったきつねのぬいぐるみと旅にでるお話です。二人の絶妙な間合いと表情がすばらしく、心がポカポカ温まる絵本です。(福音館書店)

『だるまさんが』シリーズ(かがくいひろし/作)



ページをめくる度に、だるまさんが伸びたりしぼんだりして、次がどうなるかワクワクします。一緒に体を動かして読む楽しさ倍増です。(ブロンズ新社)

『だるまちゃん』シリーズ(加古里子 作・絵)



幼稚園で大好きになり、毎日幼稚園で読んでいました。かみなりちゃんの空の世界に憧れて、「行ってみたいな」と、ワクワクした本です。(福音館書店)

『14ひきの』シリーズ(いわむらかずお 作)



ねずみの大家族が協力したり、助け合ったりと家族のあり方を教えられました。読んでいて、とても楽しい本です。(童心社)

『ママがおばけになっちゃった!』(作:のぶみ)



家族がいることを当たり前だと思っただけでしたが、この本を読んで、「当たり前前のことが、一番幸せなんだ」と改めて感じました。(講談社)

とも す ほん
友だちにすすめたい好きな本



『かいけつゾロリ』シリーズ(原ゆたか 作・絵)

しゅじんこう ふたり なかま とも さまざま ぼうけん たの おもしろ はなし
主人公のゾロリが、イシシとノシシという二人の仲間と共に、様々な冒険をする楽しく面白い話です。
(ポプラ社)



『ぐりとぐら』(中川李枝子 文/大村百合子 絵)

ほん おも きょうりょく たいせつ わ かわいい
ぐりとぐらの本は、「思いやり、やさしさ、協力をするのが大切なんだ」と、分かるとても可愛い
えほん
絵本です。(福音館書店)



『100 かいだてのいえ』(作・絵:いわいとしお)

ひ ひとり しょうねん いえ あそ てがみ き い
ある日、一人の少年のもとに、「100 かいだての家に遊びにきて」という手紙が来た！行ってみると、
100 かいだての家が！100 かいだての家 いったい誰がいるのか！(偕成社)

『りんごかもしれない』(ヨシタケシンスケ 作)



ほん ふか かんが
この本はりんごについて、深く考
え
る本だよ。この本をよ
んでみてね。りん
ごって何だろうか！(ブロンズ新社)

『スイミー』(レオ＝レオニ/作 谷川俊太郎/訳)



いろ ほか さかな
色のちがうスイミーと他の魚
たちが、
さいご おお さかな ばめん かんどうき
最後に大きな魚をつくる場
面が感動的
です。(好学社)

『ミッケ！』シリーズ(写真/ウルト・ウィック)



文/ジーン・マルガリータ 訳/糸井重里

ほん なか しゃしん だい
本の中にある写真からお題のものを
さがすという、友だちと協
力しても楽
しい本です。(小学館)

『からすのパン屋さん』(絵・文:かこさとし)



おい
あっ、美味し
そうないいにおいが
してきました。ここは、
からすの町のパン屋
さん。いろいろなパンを
焼いています。みんなも
味わって！(偕成社)

『ルルとララ』シリーズ(あんびるやすこ 作・絵)



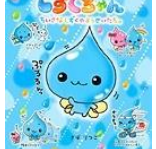
かしづく めいじん きやく
お菓子作りの名人ルルとララは
お客さんのために今日も
お菓子を作ります。レシ
ピものっているので、ぜ
ひ作ってみてください。
(岩崎書店)

『100万回生きたねこ』(作・絵:佐野洋子)



まんかい い
ねこは死ぬたびに生まれ
変わります。でも、ね
この家族と生活した時
には……。みんなに読
んでほしいです。(講談社)

『しずくちゃん』(きぼりつこ 作・絵)



あめ ようせい
雨の妖精の「しずくちゃん」。しずく
の森で、仲間たちと楽しい
日々を過ごしています。
(岩崎書店)



『ながいながいペンギンの話』
(いぬいとみこ・作 山田三郎・絵)

こ
ペンギンの子ども、ルルと
キキがいろいろな冒険を
重ねながら成長する物語。
いたずら好きのルル、弱虫
のキキ。どんな冒険を
するか楽しい本です。(理論社)

『はらぺこあおむし』(作:エリック・カール)



訳:もりひさし

さいしょ ちい ちい あおむし
最初は小さい青虫が、いろいろな
食べ物を食べて大きくな
っていきるところが、見
ていて面白いです。(偕成社)

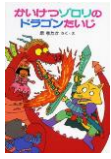


『ふたりはともだち』

(作・絵:アーノルド・ローベル 訳:三木卓)

がまくんとかえるくんのやりとりを
読んでいると、友だちのこ
とが思い浮かんで
きます。(文化出版局)

友だちにすすめたい好きな本



『かいけつゾロリ』シリーズ(原ゆたか 作・絵)

ゾロリたち三人組は、いつも悪さばかり。でも、たまに人助けをするやさしい一面もあって読んでいて楽しいお話です。(ポプラ社)



『グレッグのダメ日記』

(ジェフ・キニー/作 中井はるの/訳)

グレッグのダメな毎日の日記。グレッグはずるがしこくって、笑いありの面白い日記です。(ポプラ社)

『動物と話せる少女リリアーネ』

(タニヤ・シュテプナー 著 中村智子 訳)

駒形 絵)

リリアーネとイザヤが動物の間で起こる事件を解決します。注目は、リリアーネの解決の仕方です。(学研プラス)



『マジック・ツリーハウス 第1巻 恐竜の谷の大冒険』

(著:メアリー・ポープ・オズボーン/
訳:食野雅子)

仲良しの兄妹が魔法の木で旅をするお話です。読んでいるとすごくワクワクしてきます。(出版社:KADOKAWA)



『科学漫画サバイバル』シリーズ

みんなが知らない植物や生き物の種類が書かれています。漫画で描かれているので、中学年でも分かりやすいです。(朝日新聞出版)



『アクリイにおまかせ』

(竹下文子 作/堀川波 絵)

掃除の苦手なココちゃんが、「アクリイかたづけサービスしゃ」に部屋を片付けてもらいます。でも事件が…。(小峰書店)



『ジャコのお菓子な学校』

(ラッセル・オスファテール 作/
ダニエル遠藤みのり 訳/風川恭子 絵)

主人公のジャコは、食べることが大好きな子でした。でも、クッキーを初めて作ってみると、楽しくて。ワクワクする本です。(文研出版)



『探偵チームKZ事件ノート』シリーズ

(著:住滝良 原作:藤本ひとみ 絵:駒形)

いつも事件を追いかけている探偵チームKZ。ページをめくるときのワクワク感がたまりません。どこから読んでも楽しめます。(講談社青い鳥文庫)



『若おかみは小学生!』シリーズ

(作:令文ヒロコ 絵:亜沙美)

春の屋の若おかみ、おっこ。「あること」をきっかけに、おっこは、ユーレイがみえるように…。

(講談社青い鳥文庫)



『怪談レストラン』シリーズ

(松谷みよ子 責任編集/たかひよしかず 絵/

怪談レストラン編集委員会 編)

ある町の山の奥にある暗〜いレストラン…。ここには、様々なおばけがいます。様々なおばけが、様々なお話を聞かせてくれます。今日はなに?

(童心社)



『ぼくらの七日間戦争』/

『ぼくら』シリーズ

(宗田理/著 はしもとしん/イラスト)

大人に不満をもった子どもたちが大人と戦うお話です。シリーズもあるので、ぜひ読んでください。

(株式会社KADOKAWA)



子どもに読んでほしい本

しょうがっこう
小学校
ちゅうがくねん
中学年



『おお 大どろぼう ホツェンプロット』(作:オトフリート・プロイスラー 訳:中村浩三)

おばあさんの大切なコーヒーひきが**おお**大どろぼうホツェンプロットに盗まれて、二人の少年が捕まえようとします。ドキドキ、ハラハラの連続で、本の世界に夢中になります。(偕成社)



『ルドルフとイッパイアッテナ』(作:斉藤洋 絵:杉浦範茂)

ルドルフとイッパイアッテナのゆかいな野良猫生活。勇気や友情の大切さ、学ぶことの素晴らしさが心にひびくお話です。(講談社)

まじよ たつきゆうびん

『魔女の宅急便』(角野栄子 作/林明子 画)



主人公キキがいろいろな困難に立ち向かい、成長していく姿に共感しながら、元気をもらえる一冊です。(福音館書店)

『エルマーのぼうけん』(ルス・スタイルス・ガネット 作/



ルス・クリスマン・ガネット 絵/渡辺茂男 訳)

エルマーが、知恵と勇気をもって次々と危険な状況を切り抜けていく姿は、冒険の楽しさを味わわせてくれます。(福音館書店)



『かあちゃん取扱説明書』(いとうみく 作/佐藤真紀子 絵)

いつもガミガミうるさいかあちゃんのとりにあつかいせつめいしょ取扱説明書を書き始めた男の子の話です。思わず、うなずいてしまう内容が、たくさんあります。(童心社)

『マジック・ツリーハウス 第1巻 恐竜の谷の大冒険』

(著:メアリー・ポープ・オズボーン/訳:食野雅子)



シリーズなので、読書が苦手な人でも、また読みたくなる本です。また、歴史的なことも描かれており、誰が読んでも面白い本です。(出版社:KADOKAWA)

『ハリー・ポッター』シリーズ(J. K. ローリング 作/



松岡佑子 訳/ダン・シュレジンジャー 画)魔法の世界が細かく表現されていて、お話の中にどんどん入り込んでいきます。夢が広がり、自分も魔法学校に行ってみたくになります。(静山社 刊)

『車のいろは空のいろ』シリーズ

(あまきみこ 作/北田卓史 絵)



登場人物のタクシー運転手、松井さんの日常中に起こる非日常でファンタジーなお話。ホッと楽しめます。(ポプラ社)

『しらんぷり』(梅田俊作/佳子 作・絵)



いじめ問題を真正面から描いた本です。悲しい連鎖を断ち切るための勇気。誰もが一読したい作品です。(ポプラ社)

『はれときどきぶた』(矢玉四郎 作・絵)



読みながら大爆笑!「こんな日記が宿題だったらなあ」と、子ども。私も子どものとき、大好きだった本です。(岩崎書店)

『ふしぎなかぎばあさん』

(手島悠介 作 岡本颯子 絵)



かぎをいっぱいもらった不思議なかぎばあさんの作ってくれたごちそうの美味しそうなにおいがしそうです。勇気ももらった不思議な一日のお話です。(岩崎書店)

『いのちをいただく』(原案:坂本義喜 作:内田美智子



絵:魚戸おさむとゆかいななかまたち)

この本を読んだ後は、きっと「いただきます」の言葉の意味をかみしめながら、すべての食べ物に感謝して食事に向かい合えると思います。(講談社)

友だちにすすめたい好きな本



『ハリー・ポッター』シリーズ(J. K. ローリング 作/松岡佑子 訳/ダン・シュレスインジャー 画)

ページをめくるのが待ち遠しいほど、面白いです。情景描写も細かく、物語の様子が目に浮かぶので、一番好きな本です。(静山社 刊)



『ぼくらの七日間戦争』/『ぼくら』シリーズ(宗田理/著 はしもとしん/イラスト)

夏休みに男の子たちが廃工場を解放区にして立てこもり、大人たちに反乱を起こすお話で、大人をやっつけるシーンが面白いです。(株式会社KADOKAWA)



『ルドルフとイッパイアッテナ』(著:齊藤洋)

勇気と友情の大切さを学べる本だと思います。素直に相手を尊敬できたり、感謝できたり…感動的なストーリーです。(講談社文庫)



『赤毛のアン(新装版)』(著:モンゴメリ,L.M. 訳:村岡花子 絵:HACCAN)

アンのおしゃべりに引き込まれてしまいます。アンの空想の世界が面白いし、ダイアナとの友情がとても素敵です。(講談社青い鳥文庫)

『怪盗レッド』シリーズ(秋木真 著/しゅー 絵)



二人の怪盗レッドが力を合わせて、いろいろなミッションに立ち向かって、解決していきます。とても面白いので、ぜひ読んでください!(株式会社KADOKAWA)

『精霊の守り人』/『守り人』シリーズ



(作:上橋菜穂子 絵:二木真希子)

バルサという女用心棒に託された、精霊の卵を生み付けられたチャ Gumという皇太子のお話です。戦いに、すごくハラハラします。(借成社)

『名探偵コナン推理ファイル』シリーズ(原作/青山剛昌)



推理だけでなく、キャラクターの個性からも、犯人を考えられます。読んでいくうちに、コナンの世界に引き込まれていきます!(小学館)



『コミック版 世界の伝記』シリーズ

世界で活躍した有名な人が、どこで生まれ、どうやって有名になったのか、分かりやすく細かく描かれています。たくさんの方に読んでほしいです。(ポプラ社)



『探偵チームKZ事件ノート』シリーズ

(著:住滝良 原作:藤本ひとみ 絵:駒形)

国語、数、対人関係など五人のエキスパートが集まって探偵チームとして事件を追います。このシリーズはどこからでも読めます!(講談社青い鳥文庫)



『グレッグのダメ日記』

(ジェフ・キニー/作 中井はるの/訳)

主人公グレッグは、毎日日記を書いているとても良い子です。あきらめずに頑張るグレッグのお話です。(ポプラ社)

『はてしない物語』(ミヒヤエル・エンデ 作/



上田真而子・佐藤真理子 訳)

語り手の名手エンデによる、現実と物語が交じり合って世界をくりひろげるファンタジーでワクワクするお話です。(岩波書店)



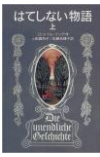
『都会のトム&ソーヤ』

(著:はやみねかおる 絵:にしけいこ)

毒舌な創也とどこにでもいる平凡な中学生の内人がくり出すトークが、何度読んでも飽きずに、楽しめると思います。(講談社)

子どもに読んでほしい本

しょうがっこう
小学校
こがくねん
高学年



『はてしない物語』(ミヒヤエル・エンデ 作/上田真而子・佐藤真理子 訳)

本の中にある本の世界。主人公が本の世界へ引き込まれていく様子を思い浮かべて、本を読む楽しさを知りました。(岩波書店)

赤毛のアン



『赤毛のアン』

(原作 モンゴメリ 訳 村岡花子)

孤児院から引き取られたアンが、たくさんの愛情を受けながら成長していく物語です。(ポプラ社)



『星の王子さま』

(サン＝テグジュペリ 作・絵/内藤濯 訳)

本当に大切なものは何かを教えてください。一冊です。優しく深い言葉がたくさん詰まっている本です。(岩波書店)



『精霊の守り人』/『守り人』シリーズ(作:上橋菜穂子 絵:二木真希子)

読み始めると物語の中に引き込まれて止まらなくなります。女用心棒バルサの圧倒的な強さと、チャグムへの愛情に魅了されます。(偕成社)

『魔女の宅急便』(角野栄子 作/林明子 画)



主人公キキが不思議な力を使って宅急便の仕事頑張る姿から、元気や笑顔をもたらうことができます。(福音館書店)

『世界でいちばん貧しい大統領からきみへ』



(くさばよしみ・文)

2012年リオデジャネイロで開かれた国際会議でのムヒカ大統領の演説をまとめた本です。本当の幸せとは何かを考えさせられます。(汐文社)

『窓ぎわのトットちゃん』



(著:黒柳徹子 絵:いわさきちひろ)

言わずと知れた名作です。ユニークな教育と、そこで学ぶ子どもたちをいきいきと描いている感動のお話です。黒柳徹子さんの実話です。(講談社青い鳥文庫)

『100万回生きたねこ』(作・絵:佐野洋子)



「命って何だろう」と、問いかけてくる本です。切ないお話ですが、大切なこと、愛することについて考えさせられます。

(講談社)

『新版 ガラスのうさぎ』



(高木敏子 作/武部本一郎 画)

作者自身の実体験を元に、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴える本です。

(金の星社)

『チームふたり』(吉野万理子 文/宮尾和孝 絵)



卓球を通じて、友情、信頼、家族の大切さが伝わります。「スポーツって素晴らしい」と、改めて感じられるさわやかな内容です。(学研プラス)

『ハリー・ポッター』シリーズ



(J. K. ローリング 作/松岡佑子 訳/ダン・シュレジンジャー 画)

幅広い世代に人気のファンタジーシリーズです。読み応えがあり、物語にどんどん引き込まれるところが魅力です。(静新社 刊)

『モモ』



(ミヒヤエル・エンデ作/大島かおり訳)

時間の大切さと心の豊かさについて、考えさせられます。心に響く、素敵な本です。(岩波書店)



『**ハリー・ポッター**』シリーズ(J. K. ローリング 作/松岡佑子 訳/ダン・シュレスinger 画)
えいが み 映画を見たことがなくても、おもしろい です。とも いっしょ よ たの 面白いです。友だちと一緒に読んだりすると楽しいので、おすすめします。
(静山社 刊)



『**世界から猫が消えたなら**』(著/川村元気)
せかい ねこ き 余命を宣告された三十歳の郵便配達員が、世界からものを消すことで寿命を伸ばしていく。主人公と
よめい せんこく さんじっさい ゆうびんはいたついでん せかい け じゆみょう の しゆじんこう
猫と陽気な悪魔の七日間の物語です。(小学館文庫)



『**植物図鑑**』(有川浩/著)
しよくぶつずかん 有川浩 甘く切ない恋愛小説です。お話を読んでいて、微笑ましく思う場面も多くあり、映画化された作品と
あま せつ れんあいしやうせつ はなし よ ほほえ おも ぼめん おお えいが さくひん
しても注目です!(幻冬舎文庫)



『**君の臍臓を食べたい**』(住野よる 著)
きみ すいぞう 「君の臍臓を食べたい」の言葉に、読み終わった後、涙します。この本に命の大切さを教えられ、
きみ すいぞう きことば よ お あと なみだ ほん いのち たいせつ おし
「日々を大切にしよう」と、思いました。(双葉社)



『**獣の奏者**』(著:上橋菜穂子)
けもの そうじや 主人公エリンが冒険して成長していく物語です。冒険に興味がある人、また新しい出会いを求めて
しゆじんこう ぼうけん せいちやう ものがたり ぼうけん きやうみ ひと あたら であ もと
いる人におすすめです。(講談社文庫)



『**バッテリー**』(あさのあつこ 著)
ふたり きやうじ ちゆうがくせい 二人の球児が中学生になることをき
つかけに、仲の良かった関係に亀裂が
なかに よ かんけい きれつ
入ります。これから二人はどう向き合っ
はい ふたり む あ
ていくのか、読んでください。
よ
(株式会社KADOKAWA)



『**図書館戦争**』(有川浩 著)
としよかんせんそう おれ せいぎ みかた ほん
「俺たちは正義の味方じゃない」。本が
か にほん ほんとう お
狩られていく日本。「本当に起こったら
じぶん どうするの」と、考えさせられ
いっさつ
る一冊です。(株式会社KADOKAWA)



『**坊っちゃん**』(夏目漱石/著)
しゆじんこう ぼ やまあらし
主人公の坊っちゃんが、山嵐とともに
むぼう しゆうい ひと たたか
無謀にも周囲の人たちと戦っていくところ
おも
がかっこよかったです。(新潮文庫刊)



『**ぼくらの七日間戦争**』/『**ぼくら**』シリーズ
(宗田理/著 はしもとしん/イラスト)
ちゆうがくせい おとな さまざま たたか く
中学生が大人たちと様々な戦いを繰り
ひろ おもしろいので、小説をあ
まり読まない人にとっても読みやすいです。
よ
(株式会社KADOKAWA)



『**星の王子さま**』
(サン＝テグジュペリ 作/内藤濯 訳)
ちい ころ だれ はなし き
小さい頃から、誰も話を聞いてくれな
べんきやう がんばり い
くて、勉強を頑張れと言われた子ども
りやこう で ふしぎ こ
が、旅行に出かけて、不思議な子どもに
であ はなし
出会ったお話です。(岩波少年文庫)



『**都会のトム＆ソーヤ**』
(著:はやみねかおる 絵:にしけいこ)
きゆうきよく 究極のゲームクリエイターになるために、
とも こんなん の こ まち ぼうけん
友だちと困難を乗り越えて都会を冒険する
ものがたり むちゆう よ
物語で、夢中になって読みました。(講談社)

子どもに読んでほしい本

ちゅうがっこう
中学校



『西の魔女が死んだ』(梨木香歩/著)

ふとうこう ちゅうがくせい そぼ にし まじよ しゅぎょう いちばんたいせつ なに
不登校になった中学生の「まい」が、祖母(=西の魔女)のもとで修業をし、一番大切なものは何かを
まな せいちょう はなし じき よ
学んで成長していくお話です。この時期にぜひ読んでみてください！(新潮文庫刊)



『星の王子さま』(サン=テグジュペリ 作・絵/内藤濯 訳)

「心で見なければ、ものごとはよく見えない」というメッセージとともに、読むたびに発見のある素敵な
ほん
本です。(岩波書店)



『赤毛のアン -赤毛のアン・シリーズ1-』(L. M. モンゴメリ/著 村岡花子/訳)

想像の翼を広げることの大切さ、そこから生まれる経験、思い。アンと共に経験して、跳んでほしい
です。(新潮文庫刊)



『カラフル』(森絵都 著)

自分の周りにいる人たちや周りにあるものがそこにあって、初めて、自分が自分であることができる。自分の存在意義に気づく本です。(文春文庫)



『下町ロケット』(著/池井戸潤)

「お前には夢があるのか？俺にはある」。研究者の夢をあきらめて、家業の町工場 製作所を継いだ主人公の製品開発に対する情熱を学んでもらいたいです。(小学館文庫)



『ハリー・ポッター』シリーズ

(J. K. ローリング 作/松岡佑子 訳/ダン・シュレスinger 画)

ファンタジー好きな人に特におすすめです。きっとこの本の世界に行きたくくなります。最初から最後までワクワク、ドキドキです。(静山社刊)



『博士の愛した数式』(小川洋子/著)

記憶力を失った博士の数学に対する姿、子どもへの愛の深さ、その博士を敬愛する二人。せつなくて温かい、心にしみる物語です。(新潮文庫刊)



『精霊の守り人』(上橋菜穂子/著)

一人の少年が、不思議な世界で、強く優しい女用心棒との冒険を通して、心身ともに成長していく物語です。ぜひ読んでほしいです。(新潮文庫刊)



『夜のピクニック』(恩田陸/著)

異母兄妹の二人が同じクラス。一晩中歩き続ける学校行事で二人にどんなドラマが待ち受けているのだろうか…。(新潮文庫刊)



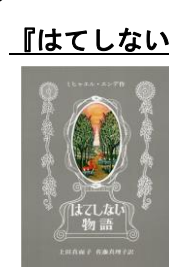
『ツナグ』(辻村深月/著)

死者との別れと再会を題材にした小説です。「一度だけ死者に会えるとしたら…」ということを考えさせられます。(新潮文庫刊)



『世界から猫が消えたなら』(著/川村元気)

最初は面白おかしく読んでいました。でも、途中から泣けて泣けて、仕方なかったです。自分の心に素直になることを教わった気がします。(小学館文庫)



『はてしない物語』(ミヒヤエル・エンデ 作/上田真而子・佐藤真理子 訳)

本の中に吸い込まれてしまい、本の中の国を救うために冒険をしていく物語です。登場するキャラクターも不思議で、ワクワクする本です。(岩波書店)



『夢をかなえるゾウ』(水野敬也 著)

奇想天外な設定ですが、「ゾウ」が言うことにいちいち納得してしまいます。

(飛鳥新社)



『**世界から猫が消えたなら**』(著/川村元気)

余命わずかと宣告された「僕」が、突如現れた悪魔との生活の中で様々なことを考える、映画化もされた人気作品です。(小学館文庫)



『**精霊の守り人**』(上橋菜穂子/著)

大きな運命を抱えたチャグムと、護衛を務める女用心棒バルサ。巨大な流れに抗い戦う二人の成長を描いた物語です。(新潮文庫刊)



『**ピブリア古書堂の事件手帖 ～栞子さんと奇妙な客人たち～**』(三上延 著)

書に関して並外れた知識を持ち、極度の人見知りである古書店主栞子さんが、客の持ち込む古書にまつわる謎を解いていく物語です。(株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス、メディアワークス文庫)



『**獣の奏者**』(著:上橋菜穂子)

母を獣に殺された主人公がその母と同じ獣の医術師を目指す。やがて、獣を武器として戦が始まります。獣との共存を考える壮大な物語です。(講談社)



『**君の臓をたべたい**』(住野よる 著)

泣けます！二人の高校生に心を奪われてしまいます。さわやかでスラッラ読める青春ストーリーです。(双葉社)



『**ハリー・ポッター**』シリーズ(J. K. ローリング 作/松岡佑子 訳/ダン・シュレシンジャー 画)

世界中で愛される大ベストセラーシリーズ！一度読んだ方も、もう一度別の角度から読んでみると、また新たな魔法の世界が見つかるかもしれません。(静新社 刊)



『**ソードアート・オンライン1 アインクラッド**』(著者/川原礫 イラスト/a b e c)

ゲームの中から出られなくなってしまった主人公が、ゲームをクリアして現実世界へ帰るために戦う話です。(株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス、電撃文庫)



『**星の王子さま**』(サン＝テグジュペリ 作・絵/内藤濯 訳)

フランス人の飛行士・小説家である著者の代表作です。「大切なものは、目に見えない」という名言を始め、大人になっても読みたい名作です。(岩波書店)



『**また、同じ夢を見ていた**』(住野よる 著)

「人生とは〇〇のようなもの」が口癖な奈ノ花が、「幸せとは何か」を、いろいろな人と関わり、学んでいく物語です。(双葉社)



『**永遠の0**』(著:百田尚樹)

戦死した祖父の生涯を調べ、「なぜ死んだのか」を明らかにしていく作品です。記憶の断片がそろったとき、明らかになる真実とは…。(講談社文庫)



『**オー！ファーザー**』(伊坂幸太郎/著)

うちには父親が四人いる!?奇想天外な設定の上に成り立っている現実味溢れる物語です。全ての仕掛けがはまったとき、心は震えるはず。 (新潮文庫刊)

友だちにすすめたい好きな本

こうとうがっこう
高等学校



『神様の御用人』(浅葉なつ 著)

ひよんなことから神様の御用人になった主人公が、神様の願いや悩み、事情などを解決する物語です。

(株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス、メディアワークス文庫)



『きみの友だち』(重松清/著)

この本は、友だちというこの意味を考えさせてくれ、大切なことを教えてくれる本だと思います。(新潮文庫刊)



『清須会議』(三谷幸喜/著)

織田信長の死後、天下取りを目指す家臣たちの会議を面白く書いた作品です。個性的な武将たちを、いろいろな視点から見て描いています。(幻冬舎文庫)



『塩の街』(有川浩 著)

突如飛来してきた隕石によって人々が塩と化してしまう現象が起こりました。その中で残された人々はどう生きていくのでしょうか。(株式会社KADOKAWA)



『ジョーカー・ゲーム』(柳広司 著)

第二次世界大戦中、スパイ養成部門“D機関”に所属する若者たちの活躍を描いたミステリー。東京、上海、ロンドン…世界各地を舞台に物語は展開します。(株式会社KADOKAWA)



『植物図鑑』(有川浩/著)

さやかは、ある日アパートの前で動けなくなっている樹を「拾う」。風変わりな同居生活が始まり、二人は心を通わせていきます。しかし、突然、樹は静かに姿を消します。樹の秘密とは…。(幻冬舎文庫)

『人生はニヤンとかなる! 明日に幸福をまねく68の方法』

(著者 水野敬也・長沼直樹)



人生はニヤンとかなる!

この本では68匹の猫たちが7つのカテゴリーにそって名言等を教えてくれます。猫の写真全部が可愛いのでおすすめです!(文響社)



『人間失格』(太宰治/著)

「恥の多い生涯を送って来ました」。そんな告白から手記は始まります。人が人として、人と生きる意味を問う、太宰治、捨て身の問題作です。(新潮文庫刊)



『その時までサヨナラ』(山田悠介/著)

『リアル鬼ごっこ』の著者が描く、切ないラブストーリーです。家族の温かさ、もう一度、思い出してみませんか。(文芸社文庫)



『スイッチを押すとき』(山田悠介 著)

押せば、痛みもなく自殺できるスイッチを渡された子どもたち。彼らを救うため、主人公は政府に立ち向かいますが…。

(株式会社KADOKAWA)



『ボブという名のストリート・キャット』

(ジェームズ・ポーエン 著、服部京子 訳)

路上生活となってしまった青年ジェームズ。そんな彼の前に現れた野良猫ボブ。一人といっぴき、友情を描いた物語です。(辰巳出版)



『魔女の宅急便』(角野栄子 著)

この本は、人生というものを考えさせられます。主人公が十三歳というこで、小学生でもとても読みやすいです。(株式会社KADOKAWA)



『風が強く吹いている』(三浦しをん/著)

個性的なメンバーで箱根駅伝を目指す物語です。これを読めば、あなたも走りたくなるでしょう。(新潮文庫刊)



『星の王子さま』(サン・テグジュペリ 著 管啓次郎 訳)

高校生のときに読んで、大人になってから読んで、それぞれの「大切なものは何か?」、心の瞳で見えて感じられる一冊です。(株式会社KADOKAWA)



『アルジャーノンに花束を〔新版〕』(著 ダニエル・キイス 訳 小尾美佐)

大人の体から幼い子どもの心を持つ主人公と白ネズミの物語です。友情と愛情、悲しみと憎しみ等、人生について考えさせられる作品です。(早川書房)



『ピブリア古書堂の事件手帖 ~菓子さんと奇妙な客人たち~』(三上延 著)

北鎌倉を舞台に、古書店の店主である菓子さんが、古書にまつわる謎と秘密を解き明かす物語です。実在の古書が出てくるところが面白いです。(株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス、メディアワークス文庫)



『風が強く吹いている』(三浦しをん/著)

箱根駅伝を目指す十人の熱い物語です。一人ひとりが駅伝にかける笑いと涙の想い、そして、友情は純粹に熱中できる今だけ手にできるもの。(新潮文庫刊)



『精霊の守り人』(上橋菜穂子/著)

国際アンデルセン賞を受賞し、ドラマ化もされているファンタジー小説。女用心棒パルサとチャグムの物語です。(新潮文庫刊)



『下町ロケット』(著/池井戸潤)

テレビ放映でも有名な佃製作所の物語です。中小企業の底力を見せつける場面は、ドラマと異なる展開も。何度読んでも興奮と感動あり!(小学館文庫)



『ぼくは勉強ができない』(山田詠美/著)

主人公の秀美くんが、家族の愛に包まれて、周囲に馴染めないながらも、「自分は正しい」と、信じて過ごしている物語です。(新潮文庫刊)



『竜馬がゆく』(司馬遼太郎 著)

幕末維新を先導した坂本龍馬(竜馬)が主人公です。幅広い年齢層に読まれており、歴史が苦手な人でも抵抗なく楽しめる作品です。(文春文庫)



『レインツリーの国』(有川浩/著)

きっかけは「忘れられない本」。そこから始まったメールの交換。しかし、会うのを拒む彼女の理由。私たちが知る必要のあるお話です。(株式会社KADOKAWA)



『手紙』(東野圭吾 著)

殺人犯の兄をもった弟の壮絶な人生を描いた作品です。メッセージ性のある文言や台詞も多く、非常に考えさせられます!(文春文庫)



『博士の愛した数式』(小川洋子/著)

80分しか記憶がもたない「博士」と、常に「新しい」家政婦の「私」、そして私の十歳の「息子」の三人が紡ぐ愛の物語です。(新潮文庫刊)



『100万回生きたねこ』(作・絵:佐野洋子)

子どもと一緒に、大人にも読んでほしい深い作品になっています。(講談社)



『人生はニャンとかなる! 明日に幸福をまねく68の方法』

(著者 水野敬也・長沼直樹)

猫たちがいろいろな言葉で元気や勇気を与えてくれる、可愛くて気持ちが楽になる本です。(文響社)

あ と が き

こ ども の 読 書 活 動 は、こ ども た ち が 言 葉 を 学 び、か ん せ い み が ひ ゃ う げ ん り ゃ く た か
そ う そ う り ゃ く ゆ た じ ん せ い ふ か い ち か ら み つ っ け て い く う え で 欠 く こ
と の で き な い も の で す。

け ん き ゃ う い く い い ん かい こ ども た ち の 読 書 活 動 を さ ら に 推 進 し、す べ て の こ ども た ち
が 本 に 親 し み、自 主 的 に 読 書 を 行 え る よ う、へ い せ い ね ん が つ
メ ～ 第 三 次 神 奈 川 県 子 ども 読 書 活 動 推 進 計 画 ～ を 策 定 し ま し た。こ の 計 画 で は、
「『子 ども と 本 と を つ な ぐ』プ ロ ジ ェ ク ト」と し て 5 つ の 重 点 取 組 を 定 め、子 ども
の 読 書 活 動 に 携 わ る 多 く の 方 々 と の 連 携 の も と、取 組 を 進 め て い く こ と と し ま し
た。そ の ひ と つ が、「ブ ッ ク リ ス ト の 作 成 と 活 用」で す。こ の 「ブ ッ ク リ ス ト」の
さ く せ い け ん ない よ う ち え ん こ え ん え ん じ し ゃ う が こ う じ ど う ち ゅ う が こ う こ う と う が こ う
の 生 徒 か ら は 「友 だ ち に す す め た い 好 き な 本」の ア ン ケ ー ト を、き ゃ う し ゃ く い ん ほ こ し ゃ
か た が た こ ども に 読 ん で ほ し い 本 の ア ン ケ ー ト を 行 い ま し た。ま た、それ
ぞ れ の 本 の 紹 介 文 も 募 集 し ま し た。ア ン ケ ー ト か ら 集 ま っ た 4,837冊 の 中 か ら 部 門
ご と に 上 位 10冊 を 選 び 掲 載 し ま し た。

読 書 の 身 近 な 手 引 き と し て、活 用 し て 頂 け れ ば 幸 い で す。

さ く せ い 作 成 に あ た り、ア ン ケ ー ト に 御 協 力 い た だ い た 園 児 ・ 児 童 ・ 生 徒 の 皆 さ ん、
き ゃ う し ゃ く い ん ほ こ し ゃ か た が た ひ ゃ う し が そ う け い さい こ り かい こ ども た ち
教 職 員 ・ 保 護 者 の 方 々、ブ ッ ク リ ス ト へ の 表 紙 画 像 掲 載 に 御 理 解 ・ 御 協 力 を 頂 い
た 出 版 社 各 位 に 感 謝 申 し 上 げ ま す。

へ い せ い ね ん が つ
平 成 29年 3月

「かながわ 子どものためのブックリスト」

発行 神奈川県教育委員会教育局生涯学習部生涯学習課

横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 電話 (045) 210-8347 (直通)

